

報道関係者 各位

専修大学商学部 教授 太田 和博 『日本の道路政策：経済学と政治学からの分析』を発刊

専修大学(所在地:東京都千代田区、学長:佐々木 重人、以下本学)商学部 教授 太田 和博は、この度『日本の道路政策：経済学と政治学からの分析』(東京大学出版会)を6月18日に発刊いたします。

日本の道路政策とは何だったのか—国民の生活と経済活動に不可欠なために、世間の注目を浴び続け激論が交わされ続けた重要課題の核心に迫り、究明困難とされる道路政策の全体像を同書では描いています。厚生経済学を基盤としたミクロ経済学と公共選択論の手法を駆使して制度の詳細とそのメカニズムを明らかにし、今後の展望も示した一冊です。

■書籍概要

書籍名：日本の道路政策：経済学と政治学からの分析
著者：太田 和博 (おおた かずひろ)
専修大学商学部教授
出版社：東京大学出版会 判型：単行本／424 ページ
定価：5,500 円＋税 発売日：2020 年 6 月 18 日

■目次

序章 道路政策を鳥瞰する視座——問題の所在と限定
第1章 道路政策の歴史——現行制度の淵源
第Ⅰ部 高速道路政策
第2章 高速道路の整備政策
第3章 高速道路の料金政策
第Ⅱ部 一般道路政策
第4章 一般道路の整備政策
第5章 自動車関係諸税と道路特定財源制度
第Ⅲ部 2000 年代の道路政策の改変
第6章 日本道路公団の民営化
第7章 道路特定財源の一般財源化
終章 道路政策の来し方、行く末——含意・提言・展望



<著者略歴>

1960 年三重県四日市市生まれ。1983 年慶應義塾大学商学部卒。1988 年同大学院商学研究科博士課程単位取得満期退学。商学博士。2002 年より現職
[専門]: 交通経済学、交通政策論
[主な著書]: 「総合研究 日本のタクシー産業 現状と変革に向けての分析」(共編著) 2017/07 (慶應義塾大学出版会、日本交通学会賞受賞)

<著者からのコメント>

大学出版部協会最高峰の東京大学出版会からの著作のため、敷居が高いイメージがありますが、数式やモデルの使用を避け、図表を多用し、道路政策の全体像をわかりやすく記述しました。第Ⅰ部と第Ⅱ部は政策論、第Ⅲ部は政治論であり、終章では自動運転社会の将来像も提示しています。

